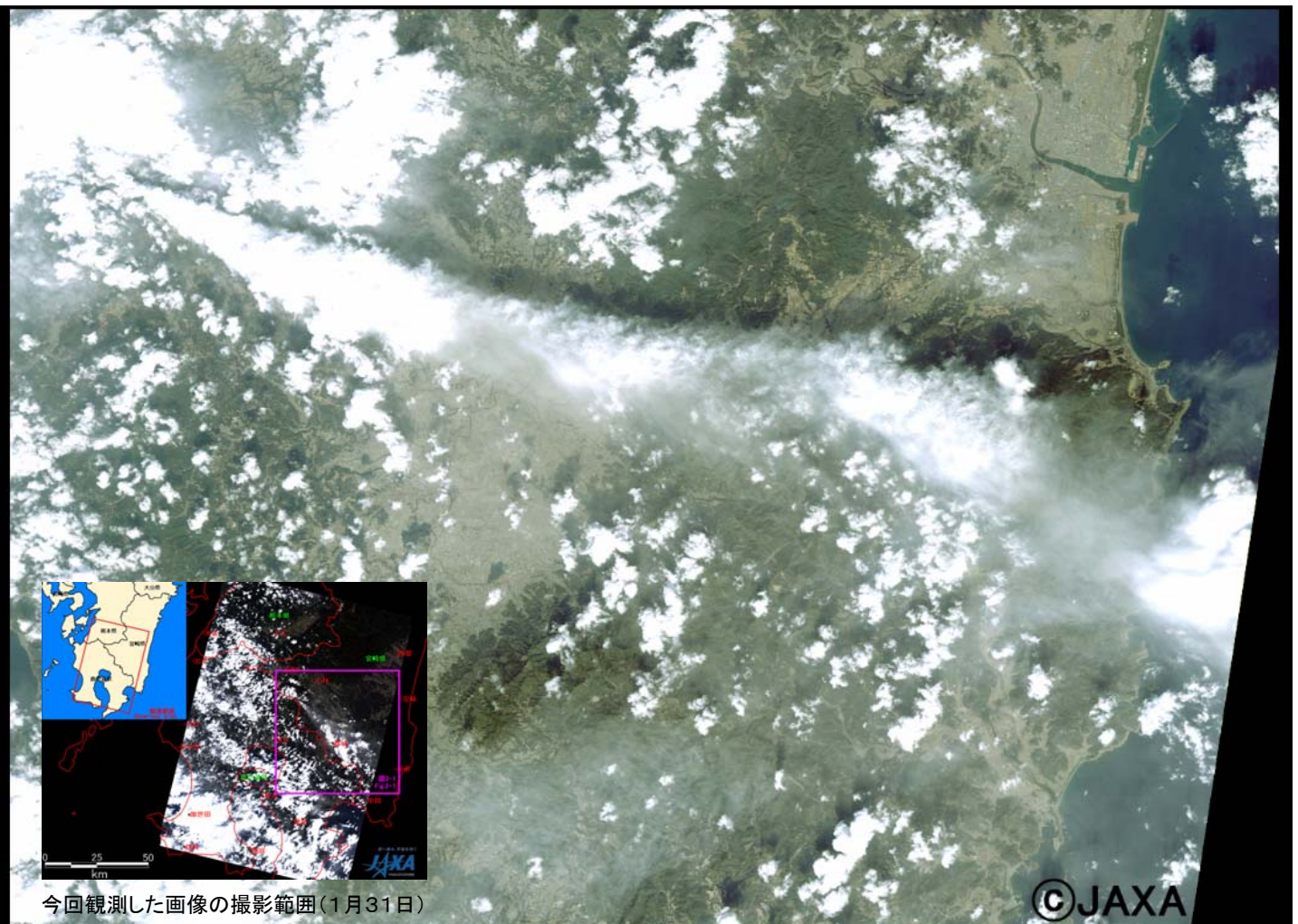


「だいち」が捉えた しんもえだけ 霧島山(新燃岳)の噴火

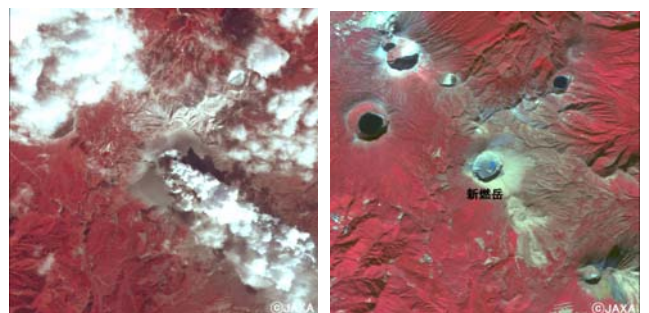


今回観測した画像の撮影範囲(1月31日)

0 5 15 25(km)

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、1月31日午前11時19分頃に噴火の続く宮崎県と鹿児島県の県境にある霧島山(新燃岳)の様子を、陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)搭載の高性能可視近赤外放射計2型(アブニール・ツー)により緊急観測を実施しました。この観測では、新燃岳火口付近から立ち上った噴煙が、南東方向へ広がっている様子がわかりました。

右図は噴火後の2011年1月31日、噴火前の2009年12月29日に観測された画像から、噴火口付近を拡大したもので、植生(赤色)と雲域(白色)が明瞭に区別できます。2011年1月31日の画像では新燃岳火口の形状と噴出する噴煙の様子が分かります。



新燃岳付近の噴火の様子(約8km×8kmのエリア)
左:噴火後(1/31) 右:噴火前(12/29)